

の先駆的な取り組みを発掘し広めるために、1999年夏、CLCが設立される。

#### ▼「第1回ユニットケア全国セミナー」開催

1999年10月、福島県郡山市にて全国初の「特養・老健ユニットケア全国セミナー」が開催される（その後「ユニットケア全国セミナー」と改名して年1回開催）。ユニットケアという言葉のなかった時代に、定員400人に対し全国から800人の参加があった。

#### ▽特養で全室個室・ユニットケアが制度化

2000年には、特養でグループケアユニット型の施設を整備する場合に、国庫補助基準面積が拡大された。2002年には、特養で全室個室・ユニットケアが制度化された。

#### ▼共生ケアの提唱

2000年2月、宮城県仙台市で開かれた第3回「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2000」にて、対象のバリアを超えると題し、子どもから障害者、高齢者などが一つ屋根の下で過ごす“共生ケア”が提唱され、反響を呼ぶ（その後、2003年から富山市で、「地域共生ホーム全国セミナー」を2年に1回開催）。

#### ▼自分らしいその人らしい地域生活支援全国推進セミナーの開催

2000年4月、誰もが地域で普通に暮らせるための実践を掘り起こし、共有する場として「自分らしいその人らしい地域生活支援ネットワーク」が発足。「自分らしいその人らしい地域生活支援全国推進セミナー」を開催（その後年1回開催）。

#### ▼「ユニットケア全国セミナー」に、パネラーとして7つの県知事が集い

2002年8月、千葉県千葉市の幕張メッセで開かれた第4回「ユニットケア全国セミナー」に、パネラーとして7つの県知事が集い、高齢者ケアについて熱く語り合った。定員1,500人に対し全国から3,000人の現場職員が駆けつけるなど、ユニットケアへの関心が高まる。

#### ▽「地域サテライトケア」が国の概算要求に・・・

2002年8月、2003年度厚生労働省予算の概算要求で、「地域サテライトケア」が計上された。

#### ▼地域共生型小規模ホーム調査研究会発足

2002年秋に、「富山型」と呼ばれ、注目を浴びる「共生ケア」とは何かを探求することを目的に、「地域共生型小規模ホーム調査研究会」が発足（その後「地域共生ケア研究会」に改名）。

#### ▽国の補助金で、認知症ケア、施設のサテライトケアの調査研究事業

2002年度後半から2か年にわたり、宅老所などの小規模多機能ケアやグループホームなどの認知症ケア、施設のサテライトケアの今後の可能性についての調査研究事業が、国の補助金で行われる。

#### ▼地域サテライトケア推進プロジェクト発足。地域サテライトケア全国サミット開催

2002年9月、住み慣れた地域で暮らし続けることを施設側から支える手法として、施設の機能を地域に分散させる取り組みをしている実践者や研究者が集まり、「地域サテライトケア推進プロジェクト」が発足。「地域サテライトケア全国サミット」を開催（その後年1回